

MITSUBISHI

三菱パイプ用ファン 居室用

工事店さま用

形名によって取扱いが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

形名表示位置



取付工事説明書

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

取付工事を始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

- 電気工事は電気工事に依頼してください。
- この製品は居室に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因になります。
- 接続パイプは市販の塩化ビニル管、鋼板管のいずれかをご用意ください。
- 直接屋外に排気する場合、雨水浸入防止のためシステム部材(ウェザーカバーなど)を取付けてください。
- 外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを取付けることをおすすめします。(壁面汚れ、雨水浸入、電気式シャッターばたつきの原因になります)

センサー機能	形名	機能	グリル形状	電源仕様	適用パイプ	付属部品
湿度 センサー付	V-08PHSD5	停止タイプ (電気式シャッター付)	角形 タテ格子 グリル	速結端子	●塩化ビニル管…VP、VU(呼び径φ100) ●鋼板管(内径φ100)	木ネジ 2本
	V-08PHLD5	常時弱運転タイプ				
	V-12PHSD5	停止タイプ (電気式シャッター付)				
	V-12PHLD5	常時弱運転タイプ				
温度 センサー付	V-12PTSD5	停止タイプ (電気式シャッター付)			●塩化ビニル管…VP、VU(呼び径φ150) ●鋼板管(内径φ150)	
	V-12PTLD5	常時弱運転タイプ				
雑ガス センサー付	V-08PNSD5	停止タイプ (電気式シャッター付)			●塩化ビニル管…VP、VU(呼び径φ100) ●鋼板管(内径φ100)	
	V-12PNSD5					
	V-12PNLD5	常時弱運転タイプ				

お願い

- 高温(40℃以上)になるところに取付けしないでください。(故障の原因になります)
- アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。(振動の原因になります)
- システム部材(ウェザーカバーなど)は壁厚にあったものを選んでください。(壁厚により取付けられないものがあります)
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 外風の強い日はセンサーが正常に動作しないときがあります。
- 風量の大きな換気扇を動作するとセンサーが正常に動作しないときがあります。
- 換気扇に直接日光などが当たる場所には取付けしないでください。(誤動作の原因になります)
- 空調機器の近くには当たる取付けしないでください。(誤動作の原因になります)

外形寸法図 ⇒ 梱包箱を確認ください

取付方法

注意

- 湿気の多い場所(浴室、シャワー付洗面台・衣類乾燥機のある洗面所など)、結露する場所では使用しない(感電・故障の原因になります)

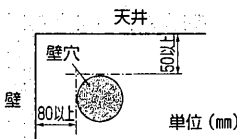
1.取付前の準備

壁取付けの場合

壁穴へのパイプの固定

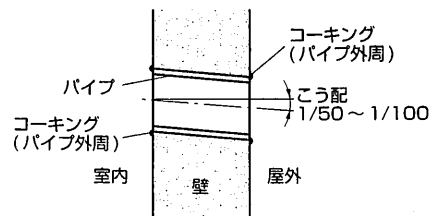
1.取付け場所を決めて穴をあける。

- 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
- 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に取付けてください。
- 本体左側面にスイッチがありますので、操作性を考慮して左壁面からの距離を十分に離すことをおすすめします。



2.壁穴にパイプを確実に固定する。

- パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
- 電源線を室内に引き込んでから(電気工事参照)行ってください。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込みます。



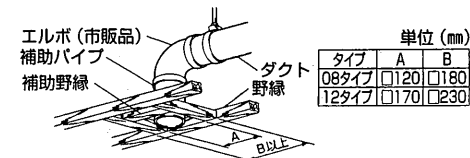
お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ固定してください。

天井取付けの場合

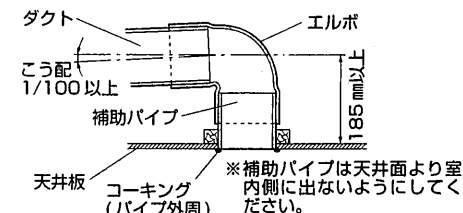
野縁工事とダクト配管

1.下図のように野縁工事をし、ダクト配管をする。



2.ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはる。

3.エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。パイプと天井のすき間はコーキング処理を施します。



お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。

取付方法 つづき

2.電気工事

警告

- 交流100Vを使用する
(直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)

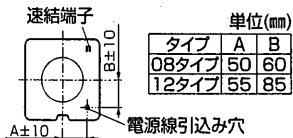
注意

- 配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
(接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因になります)
- 電気工事は電気工事に依頼する
(感電の原因になります)

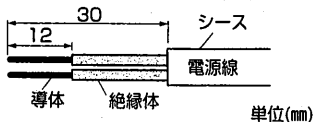
■専門の電気工事店さまへ依頼し、電気設備の技術基準に基づいて行ってください。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。
- 当社以外の電子式スイッチ(半導体制御による速調スイッチ・タイマー等)をご使用の場合は組合せ上、不具合が発生するおそれがありますので使用の際はあらかじめご確認ください。

- 1.電源線を下図の位置から室内に引き込み。
●電源線はVVFφ1.6、φ2.0 2芯をご使用ください。

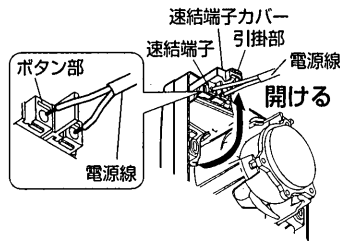


- 2.電源線の先端を下図に合わせて皮むきする。
●端子部への水浸入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。



3.本体の取付け (壁取付け・天井取付けともに同様の取付けかたです)

- 1.本体からグリルをはずす。
- 2.電源線を速結端子に差し込む。
①速結端子カバーの引掛部に手を掛け、図のように開ける。
②電源線を速結端子に差し込む。
③確実に速結端子カバーを元通り閉じる。



お願い

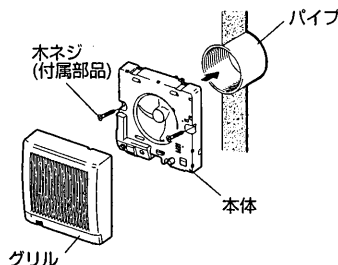
- 電源線は確実に速結端子に差し込みます。皮むき部分が端子より出ないようにしてください。
- 電源線を軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源線は本体面に密着させて配線してください。
- 電源線を速結端子よりはみ出す場合は、ボタン部を押しながら電源線を引き抜いてください。

- 3.本体の上下を確認してパイプに差し込み、付属の木ネジで本体を固定する。

- パイプに差し込むとき、シャッターに力を加えないでください。
(シャッター付機種：V-08・12PHSDs、12PTSDs、08・12PNSDs)
- 石膏ボードに取付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。

- 4.グリルを本体に取付ける。
●グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込みます。

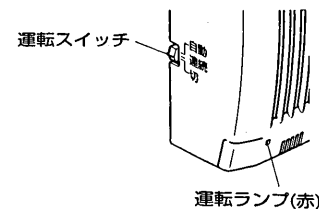
- 5.以上の工事が終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。



試運転

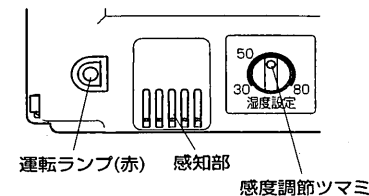
取付工事が終わりましたら、下記の要領にて試運転を行ってください。

- 1.運転スイッチを「連続」にするとシャッターが開き換気扇が運転し、運転ランプ(赤)が点灯するか確認する。
(常時弱運転タイプはシャッターがありません)
- 2.運転スイッチを「切」にするとシャッターが閉じ換気扇が停止し、運転ランプ(赤)が消灯するか確認する。
(常時弱運転タイプはシャッターがありません)
- 3.運転スイッチを「自動」にし、グリルを取りはずして感度調節ツマミを操作し、下記のことを確認する。



温度センサー付・温度センサー付

感度調節ツマミ	停止タイプ	常時弱運転タイプ
左側に回す	シャッター開き 換気が開始 運転ランプ(赤)点灯	強運転 運転ランプ(赤)点灯
右側に回す	シャッター閉じ 換気が停止 運転ランプ(赤)消灯	弱運転 運転ランプ(赤)点灯



図は08タイプの湿度センサー付のグリルをはずした状態を示します。

下記条件の場合は自動運転または停止(弱運転)しません。

	運転しない条件	停止(弱運転)しない条件
湿度センサー付	周囲湿度が30%RH(低)未満(目安)	周囲湿度が80%RH(高)以上(目安)
温度センサー付	周囲温度が5℃未満(目安)	周囲温度が40℃以上(目安)

雑ガスセンサー付

雑ガスセンサー付はパイプ用ファンの下で喫煙するなどして、センサーが煙を検知して運転することを確認してください。

※雑ガスセンサー付の強制運転について

運転スイッチを「切」→「自動」もしくは電源を投入後は5分間強制運転を行います。(運転ランプは点滅)

- 4.感度調節ツマミを適正な位置に調整し、グリルを本体に取付ける。

※自動運転時の停止状態について

(対応：湿度センサー付、温度センサー付の停止タイプのみ)

感知部の周囲を部屋の状況に近づけるためにシャッターが閉じた状態でも低速運転します。(シャッターが閉じているため換気しません)

愛情点検



☆長年ご使用の換気扇の点検を!

ご使用の際このようなことはありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。(モーターはメンテナンスが必要な部品です)
- こげ臭いにおいがする。

使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ

サービスを依頼される時便利です。

形名	年	月	日
お買上げ年月日			
お買上げ店名(住所)(電話番号)	()		

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
(材質名は主材料にISO) (規定の略号を使用)

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。

取扱説明書は表面をご覧ください